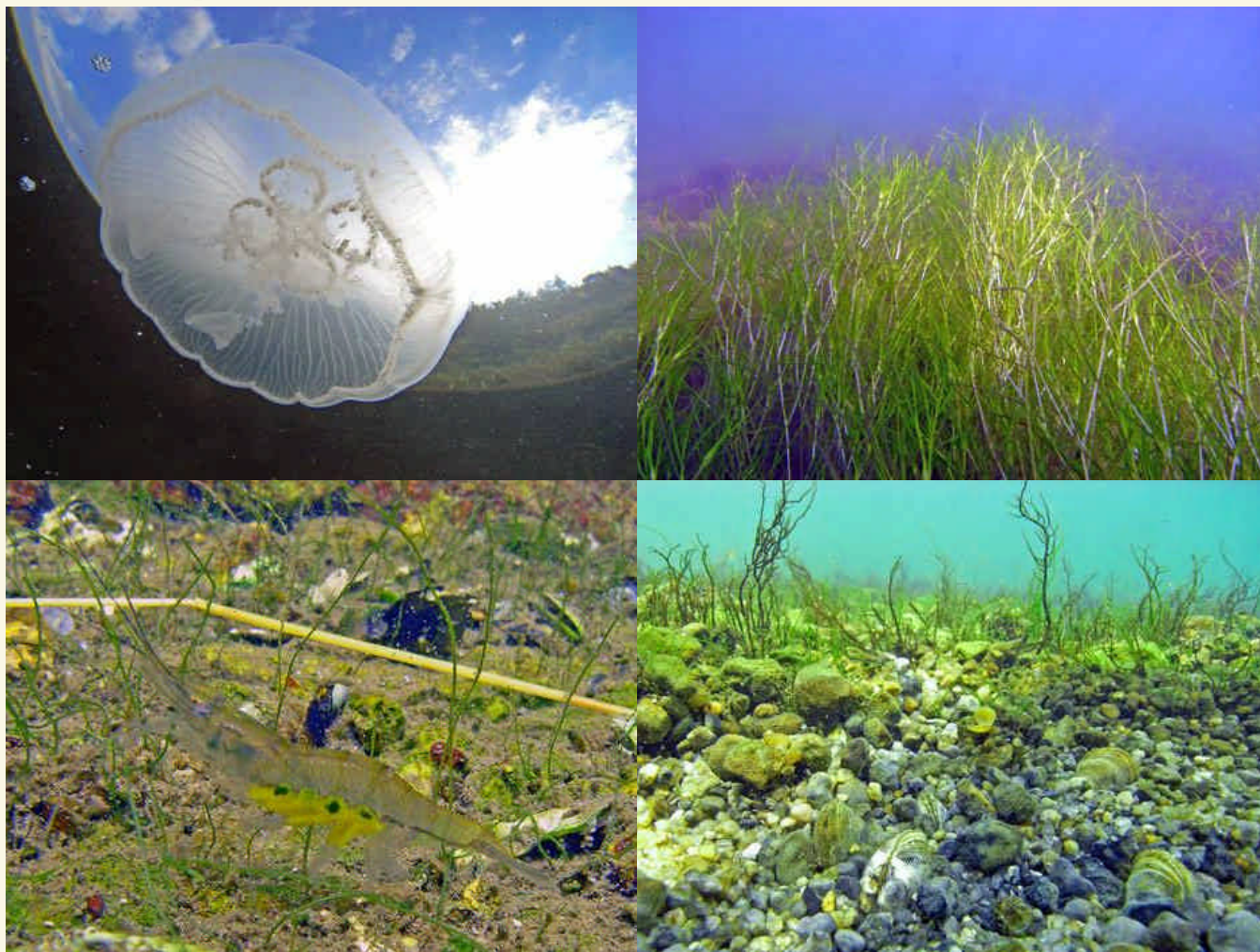


中海水中図鑑 ～水面下の別世界～

陸の上からでは見ることができない、生き物たちのこんな世界も広がっているのです。

【写真・コメント：NPO法人未来守りネットワーク技術顧問・NPO法人自然再生センター理事 ^{さきも} 新井章吾氏】



写真は、松江市美保関町万原地区(中海北部にある北部承水路)の**ミズクラゲ**(左上)と海草の**カワツルモ**(右上)、安来市十神の**シラタエビ**(左下)、米子市大崎の**アサリ**(右下)です。

新井氏によれば「中海の水質はなかなか改善していないと言われていたのですが、湖岸部に限れば、遠浅で湖底からの湧水が滞留しやすい場所に、驚くほど透明度の高い別世界があります。大崎のアサリ生息地は、湧水がある場所に山砂と石炭灰造粒物を用いて造成された人工的な浅場です。中海の生物の多様性と生産力を回復させるために、透水環境及び埋め立てられてしまった浅場の積極的な再生が望まれます」とのことです。

■ 藻刈り体験イベント in 本庄

～まつえ環境市民会議～

■ 流出水対策の取組-2010年活動報告-

～島田地区中海流出水対策協議会～

■ 宍道湖・中海とともに生きる楽しむ講座

—この日、さかなクンと遊び・学び、
そしてスウイングする。—

■ 中海散歩道

～サイクリング探訪記 in 大根島～

地域の住民活動のご紹介

藻刈り体験イベント in 本庄

まつえ環境市民会議

11月20日(土)、中海に繁茂する海藻「オゴノリ」の実態を知ろうと、「藻刈りの体験イベント」(島根県の委託)を松江市本庄町の本庄公民館等で開催しました。

小春日和の穏やかな晴天日、中海は空気が澄み、海面は凧で絶好の藻刈り日和。野原町の湖岸に移動した参加者は、三艘の漁船に数名ずつ乗り込み、目的地に繰りだしました。



地元漁師さんの指導のもと、早速「じょれん」を使って底をすくいあげると、たちまち船上はみずみずしいオゴノリの山。

「じょれん」でオゴノリをすくう



もちろん採取したオゴノリは参加者が持ち帰り有効に活用されました。

(注：かつて中海では、オゴノリは漁獲の対象になっており、寒天原料や食材、肥料藻として利用されていました。)

公民館に戻り、NPO法人自然再生センターの徳岡隆夫理事長が講演。「かつて中海では多くのオゴノリ等の漁獲量があったが、化学肥料や輸入品に取って代わられた」と説明。地元漁師さんからは「近年、資源量は増加している。ただし、刈り取らないと腐敗して水質悪化の原因になる」と忠告。中海には有用な資源があることを考える契機になり、本日は意義があったとまとめました。

NPO法人 自然再生センター 徳岡理事長の講演



このイベントは、本庄公民館門脇館長をはじめたくさんの方にお手伝いいただき、交流の輪が広がりました。婦人会の皆さんには、前日からイベントをしめくくる試食会の準備にご尽力いただきました。オゴノリの酢の物のほか、大きな天然うなぎ、赤貝飯、コノシロの南蛮漬けなど珍しい料理がならび、美食三昧、参加者はえびす顔になりました。また、オゴノリの酢の物の調理法を伝授、何か歴史・風土のつながりを感じたひとときでした。

中海の自然の恵みに感謝した有意義な一日になりました。

中海の食材を使った弁当を試食



平成23年度から、鳥取県・島根県が連携・協力し、海藻の回収事業、肥料や健康食品等への利活用に係る調査研究を実施する予定です。

今後、貴重な地域資源の発掘、ブランド化につながることを期待大です。

流出水対策の取組 -2010年活動報告-

島田地区中海流出水対策協議会

第5期湖沼水質保全計画(平成22年3月、鳥取県・島根県策定)により、農地、市街地等からの汚濁負荷量の削減を図ることを目的に、米子湾流域が流出水対策地区に指定されました。

(事業実施概要)



協議会設立報告及び清掃作業を実施

7/18 島田地区「クリーンアップ2010」

指定を受けた安来市島田地区では、平成22年7月に島田地区自治会、環境保全向上組織及び島田交流センターを中心に島田地区流出水対策協議会を設立し、地域住民が主体となって清掃作業、学習会等の事業に取り組みました。



8/20 海上から見る中海視察及び学習会



8/31 先進地視察 [NPO法人びわ湖豊穰の郷(滋賀県)]



毎月、18箇所の水質検査を実施

宍道湖・中海とともに生きる楽しむ講座

-この日、さかなクンと遊び・学び、そしてスウイングする。-

秋の薫り立つ候、テレビなどでおなじみ東京海洋大学客員准教授、さかなクンを招いた講座を10月3日に出雲市の県立宍道湖自然館ゴビウス、県立青少年の家サン・レイクで開催しました。家族連れなど約550人が参加、宍道湖・中海の自然や生物の大切さについて楽しくふれあい学習しました。

さかなクンは、ゴビウスの「河川シオラマ水槽」前などで講義し、水槽で泳ぐヤマメやウグイの漢字の書き方や模様、繁殖期の特徴などを絵に描いてクイズ形式で紹介しました。クイズに正解した子どもたちには、さかなクンの描いた絵がプレゼントされ、ギョギョギョ思い出の記念日になりました。

さかなクンは、「宍道湖や中海は海と淡水の魚と一緒に暮らすぜいたくな湖。魚の魅力をいろいろな見方で楽しめますね」と話し、参加した子ども

たちは、「絵が上手で親しみやすく、魚のことがよく分かった」と喜んでいました。



さかなクンの講義(ゴビウス レクチャールーム)

※この講座は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。

中海散歩道

山紫水明、風光明媚な湖面に朝靄がゆつくり流れる朝、大根島サイクリングぐるっと一周、島の心地よさを体感し発信するため、鳥取県T氏、K氏と筆者A島根県 の旅人が島の真ん中八束支所に集合。心得第1「島全体が好き、どこからもパラノマの風景が見え、中海、大山がきれい、五感で感じて！」八束公民館長の思いを教訓にGO・GO!

まず北進、すぐに溶岩トンネル「竜溪洞」の入口を発見。大根島は約20万年前に噴火した火山島、これは玄武岩溶岩の流出によってできた洞窟。事前連絡すれば洞窟の中にも入れる。島のいたるところに玄武岩が露出しているので必見。

気持ちよい風に背中を押され坂を下ると湖岸道路に出る。この道沿いは、NPO

「千本桜の海道」を快走



廃船、幻想的な光景



溶岩トンネル「竜溪洞」



サイクリング探訪記 in 大根島

南東、北方向に進みながら頂上に雲のかかった大山を眺め、再び千本桜の海道に。ここからペダルに力を込めてラストスパート。枕木山を眺めたところがフィニッシュ。約十キロ、一時間半の旅だった。

続いて、「波入の湧水」はにゆうのかわーを見つけた。大根島には降水(淡水)が凸レンズのような形で塩水の上に浮かんでおり、これを淡水レンズと言う。そのため、淡水の地下水が豊富。昔から牡丹や雲州人參が有名なのは豊かな水の恵か? 近くには弁天島公園があり、ここでひと休みしてゆったり中海を眺める。

法人斐伊川くらぶの呼びかけで住民・各団体のボランティアが一緒に汗をかき、平成19年から毎年桜を植樹したところ。今年2月13日には桜千本達成植樹&記念式典が開催され、花と緑の島大根島に新名所「千本桜の海道」の完成を皆で喜んだ。桜海道を西に走っていると、斐伊川くらぶの作業中に遭遇。「桜満開になる頃が待ち遠しいね」と言葉を交わし、暖かな青空の下、海沿いを進む。すると、中海に廃船が出現。この辺りは内陸側に岩垣が見られ、「昔はそこまで中海だったんだ」と過去の遺産が感慨深い。



弁天島公園でひと休み



波入の湧水



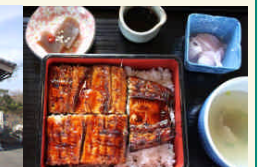
最後に、島の真ん中の丘の上にあるCafe Celeste(カフェエレスト) (電話0852-76-3668)へ。店の名前はイタリア語で青い空、海という意味。カフェからはパノラマの眺め、暖かくなると木目の表裏扉が全開になり、心地よい風が通る。イタリアのカプリ島にいるような異国情緒を感じる。店内のインテリアは白が基調、古い足踏みミシンを使ったテーブル、置物などがお洒落。手作りのシヨコラケーキセットを注文。居心地のいい空間、優雅な時間を愛でることができた。

秘伝のタレが関西風に焼いたうなぎに味付けられ、香ばしさ、肉厚、色合い食欲をそそる。ひと口食べると脂がのった蒲焼き本来の旨みが口中に充滿、鼻から抜けていく記憶に残る味である。白焼きもお奨め。食後には隣のうなぎ神社で「うなぎのぼりになりますように」と参拝。

寺津のうなぎ処山美世(やまみせ) (電話0852-76-3198)で昼食。ここは大正三年から伝統の味を継ぐうなぎ蒲焼きの老舗だ。筆者は人気メニューのうなぎを注文。



「Cafe Celeste」でティータイム



うなぎ処「山美世」で昼食

中海の環境活動イベント情報をホームページに掲載しています

中海エコ活動イベント情報 ホームページアドレス <http://db.pref.tottori.jp/NEAI.nsf>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所
生活環境局環境・循環推進課
鳥取県米子市鞆町一丁目160
電話 (0859)31-9350
E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp
Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

島根県環境生活部環境政策課

島根県松江市殿町1番地
電話 (0852)22-5562
E-mail:kankyo@pref.shimane.lg.jp
Homepage: <http://www.pref.shimane.lg.jp/kankyo/>

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認してください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。